

修身説約 卷ノ拾

復刊版



群馬地域文化振興会

修身說約卷ノ拾

木戸 麟 編纂

第一

ベンジヤミン¹。フランクリン²。ハ、北³アメリカ⁴ボス
ト⁵州、燭匠ノ子ナリ、貧窶ニシテ、幼コリ摺版戸
ニ身ヲ托シタリ、其ノ性、書ヲ好メ、容易ク之ヲ
買フコト能ハサレバ、常ニ節儉ニ、漸々ニ、僅小ノ
俸金ヲ積ミテ、之ヲ買ヒ、一寸ノ光陰モ、空ク、費ス
コナクシテ、之ヲ讀メリ、十六歳ノ時⁶ヒラゲルヒ
ア⁷ニ行キ、ケ⁸ーメル⁹ト云ヘル、摺版戸ニ從ヒテ、其

ノ業ヲ勉メケルガ、穎敏ト勉勵トニヨリテ、華麗
ノ文章ヲ屬スルニ至リシカバ府尹之ヲ喜ビ、自
馬車ニ駕シテ、¹フランクリンヲ載セテ歸リ、大ニ
賞物ヲ與ヘテ、饗應セリ、其ノ後¹フランクリン、英
都¹ロンドンニ行キ、一書舗ニ身ヲ托シ暇アレバ
則學ヲ勉メリ、他ノ同輩ハ、金ヲ費シテ、酒ヲ嗜ミ、
之ガタメニ、腦髓ヲ損害シ神氣ヲ鈍クセリ、¹フラ
ンクリンハ、酒ヲ飲マズ、慎ミテ、時ヲ用ヒタレバ、
身體强健ニシテ、智識ヲ研究シ、多クノ金ヲ儲蓄
セリ、二十歳ノ頃、既職業學術ノ精巧ヲ極メテ、¹ヒ

ラデルヒアニ歸リ、ゲーメルト共ニ、業ヲ開キタ
リ、此ノ時ニ當リテ、¹フランクリン²ノ事務、極メテ
繁多ニシテ、毎日、大紙一面ノ活字ヲ植エ、且、雜事
ヲ治メ、勉強敏捷ナリケレバ、近隣ノ人、之ヲ信ジ、
事アレバ、必、托セラレ、益、榮名ヲ得タリ、又、新聞紙
ヲ發行セシガ、諸邦ノ人、爭ヒテ、之ヲ求メ、漸々、財
ヲ積ミタレド、節儉ヲ守リテ、驕奢ノ行ヒ無ク、時
トシテハ、自車ヲ牽キテ市ニ行キレ¹有リ、爾後、
文房具ヲ賣リテ、文庫ヲ設ケ、一書ヲ著シテ、年毎
ニ、一部ヲ出版セリ、此ノ書ハ、文體精密ニシテ、至

要ノ諭言及ヒ諸賢ノ確論ヲ記シタルモノナリ、
三十歳ニ及ビテ、ヒラデルヒア議院ノ書記官ト
ナリ、明年進ミテ驛遞代官ニ撰舉セラレタリ、是
ニ於キラ、益國民ノ裨益ヲ計リ、會社ヲ結ビ、英達
ノ學士ヲ集メテ、教ヘヲ弘ム、又、少年ノ爲ニ、専門
學校ヲ設ケ、又、火災ノ爲ニ、火事請負社ヲ創立シ
タリ、其ノ他、國家ノ利益ヲ爲セシメ、舉ゲテ數ヲ
可カラズ、爾後、理學ヲ研究シ、紙鳶ノ方便ニヨリ
テ、雷雲ヨリ電氣ヲ導キ、初メテ、雷電ト、尋常「エレ
キト」同質ナルヲ知リ、避雷線ヲ發明セリ、稍老